

アートセレブ®用イリゲーションチューブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

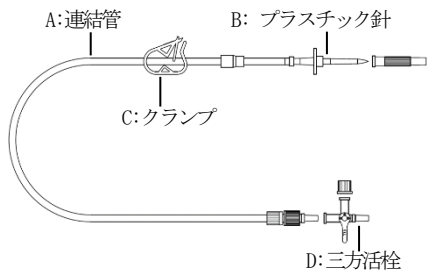
<使用方法>

- 再使用・再滅菌禁止
- 本品はアートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液（大塚製薬工場製）専用のイリゲーションチューブであるため、本品のプラスチック針を、アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液（大塚製薬工場製）以外の液体バッグに接続しないこと。
- 本品を他の輸液セット又は延長チューブ等に接続して使用しないこと。

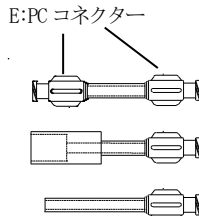
**【形状・構造及び原理等】

本品形状<代表例>

*・本体



・付属品（コネクター）<代表例>



**材質

部 品		材 質
A:連結管		ポリ塩化ビニル
B:プラスチック針		ポリアセタール
*C:クランプ		ポリアセタール又はポリプロピレン
**D:三方活栓	本体	ポリカーボネート
	ハンドル	ポリカーボネート又はポリエチレン
E:PCコネクター		ポリカーボネート

本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）を使用している。

【使用目的、又は効果】

本品は、アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液（大塚製薬工場製）専用のイリゲーションチューブであり、脳脊髄手術において、術野の洗浄や治療部位の冷却などの為に用いる液体を、可能な限り外気に接触させず容器（スポイト又はシリンジ等）へ導入する目的で使用される。また、滅菌済みであるためそのまま直ちに使用できる。

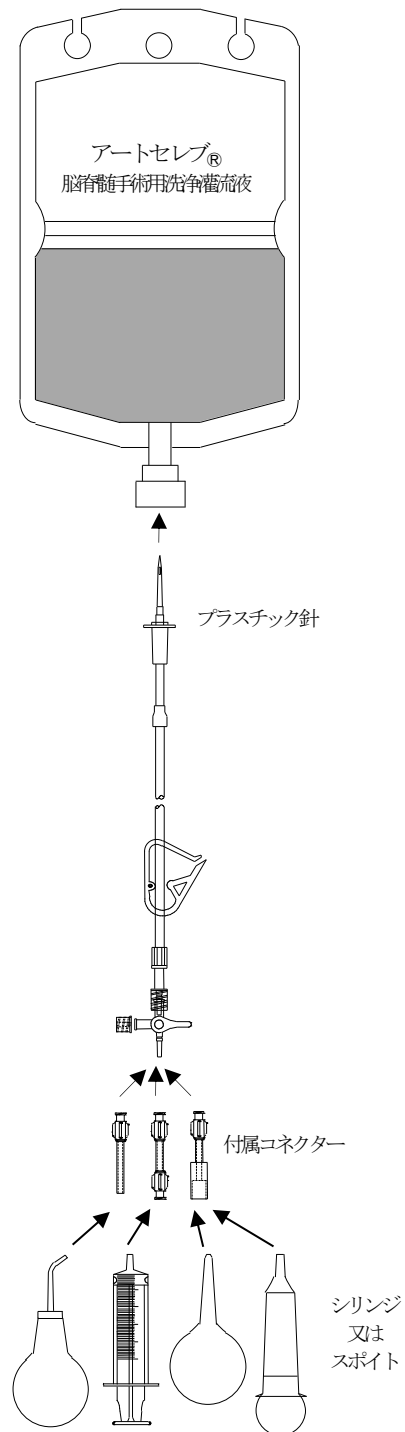
【使用方法等】

<使用方法>

- 本品を包装内より汚染に十分注意し取り出し、破損等無いことを確認する。
- クランプ及び三方活栓を操作しチューブを閉塞状態とし、プラスチック針挿入時の液体漏れを防ぐ。
- アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液（大塚製薬工場製）の栓部に本品のプラスチック針を確実に挿入する。

- 液体導入時に使用する、スポイト又はシリンジ等に合う付属コネクターを、三方活栓部にしっかりと装着する。
- 陰圧がかかる状態（例：スポイトを絞り込んだ状態）で、スポイト又はシリンジをコネクターにしっかりと装着する。
- クランプ及び三方活栓を解放し液体を導入する。
- 導入後は三方活栓等を利用し、液体漏れを防ぐ。

<本品の代表的な接続例>



＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- 1) プラスチック針の液体バッグ栓部への抜き差しはプラスチック針本体を持って行うこと。[プラスチック針からチューブが抜ける可能性がある]
- 2) 本品付属のコネクター以外は使用しないこと。
- 3) 本品の三方活栓及びコネクターに、経腸栄養用シリンジを接続しないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出する恐れがある。
- 2) 脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油などの油性成分、界面活性剤又はアルコールなどの溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ポリカーボネート樹脂製の三方活栓、コネクターのひび割れについて注意すること。[薬液により三方活栓、コネクターにひび割れが生じ、薬液漏れ、空気混入などの可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じる可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締めは、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- 3) ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- 4) プラスチック針は、斜めに穿通したり、穿通中に横方向の力を加えないこと。(変形や破損が生じる可能性がある。)
- 5) チューブ及びチューブと接合している箇所は、過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。]
- 6) 本品を自動注入ポンプや高圧負荷のかかる機器及び器具への使用はしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 保管方法
 - ①包装に傷や破れが生じないように取り扱い及び保管に注意すること。
 - ②本品は高温多湿や直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔な場所に保管すること。
- 2) 有効期間
製品ラベル参照。
[自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ハナコメディカル株式会社

〒330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町2-24-11

TEL 048-881-4001